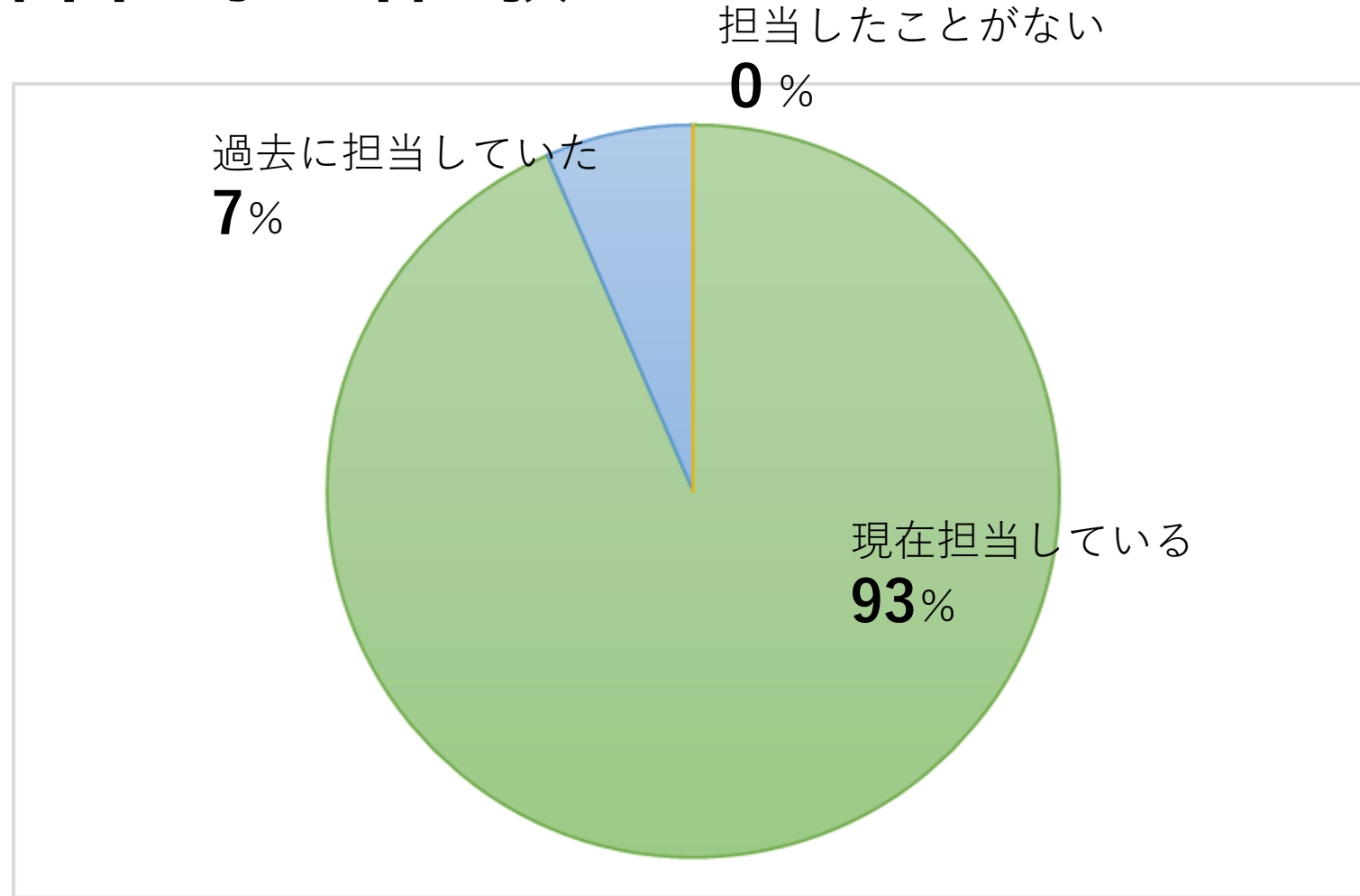


2020年 介護支援専門員アンケート

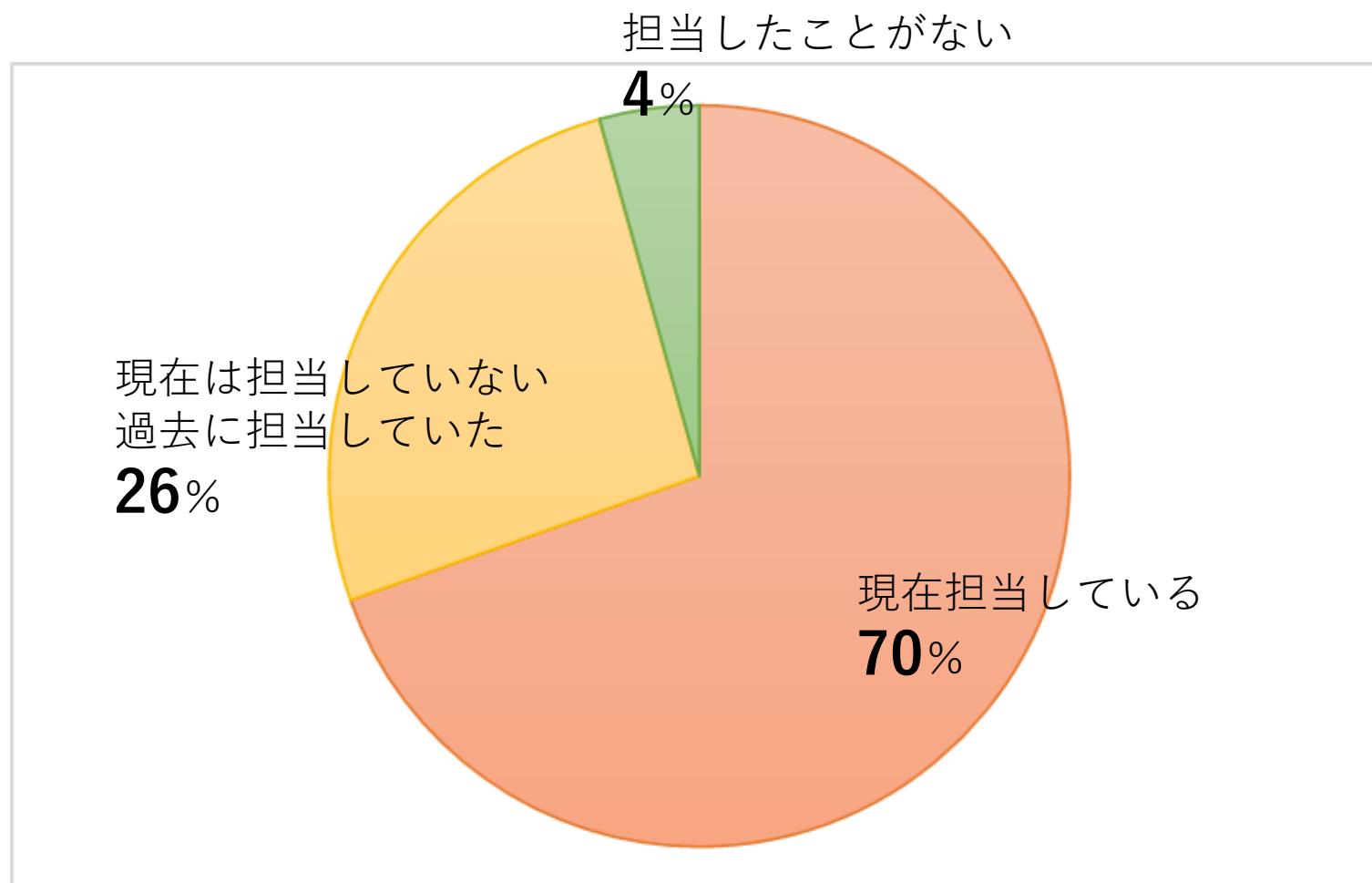
脳血管障害の担当経験

46件の回答 [%]



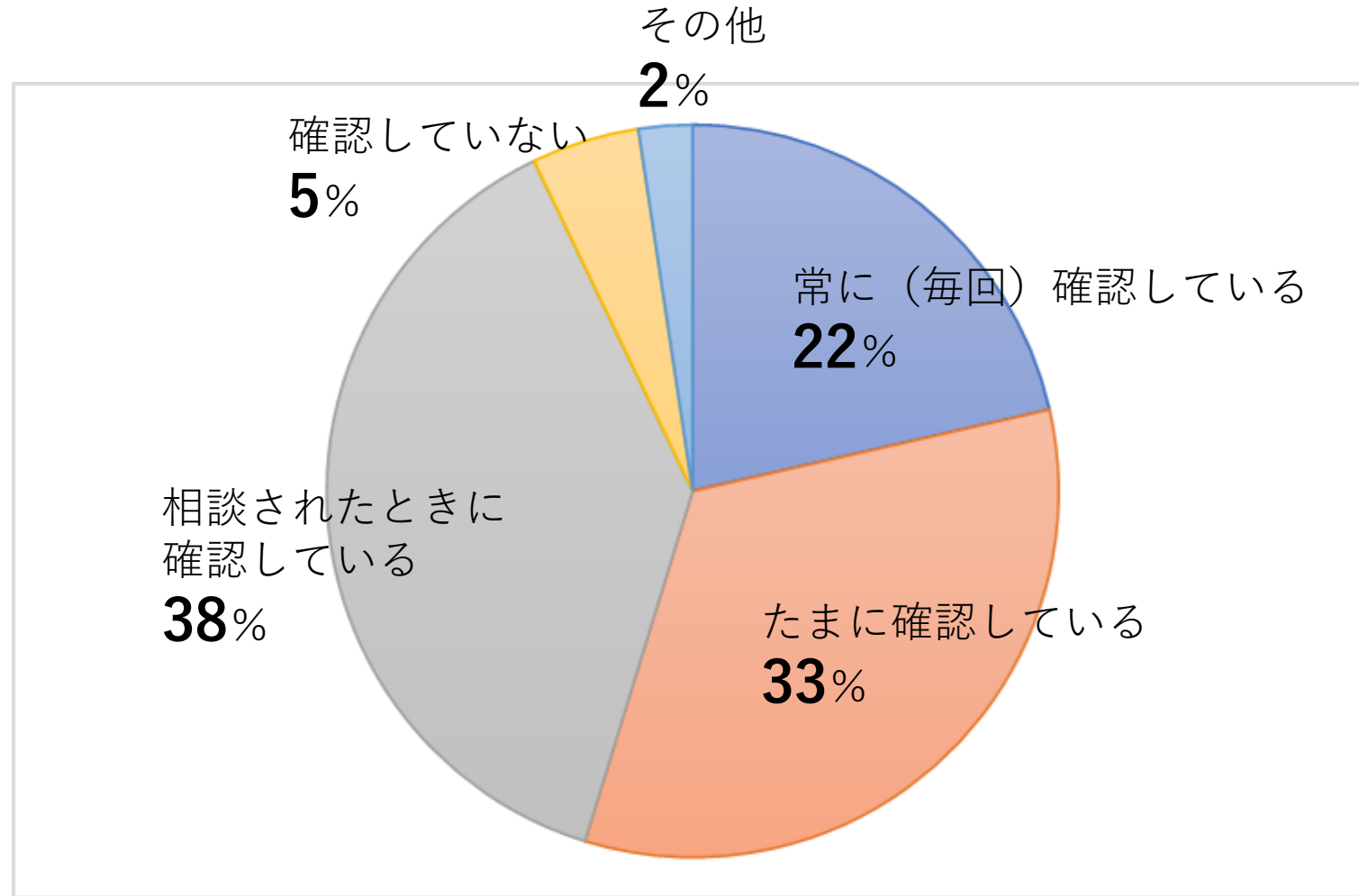
下肢装具の担当経験

46件の回答 [%]



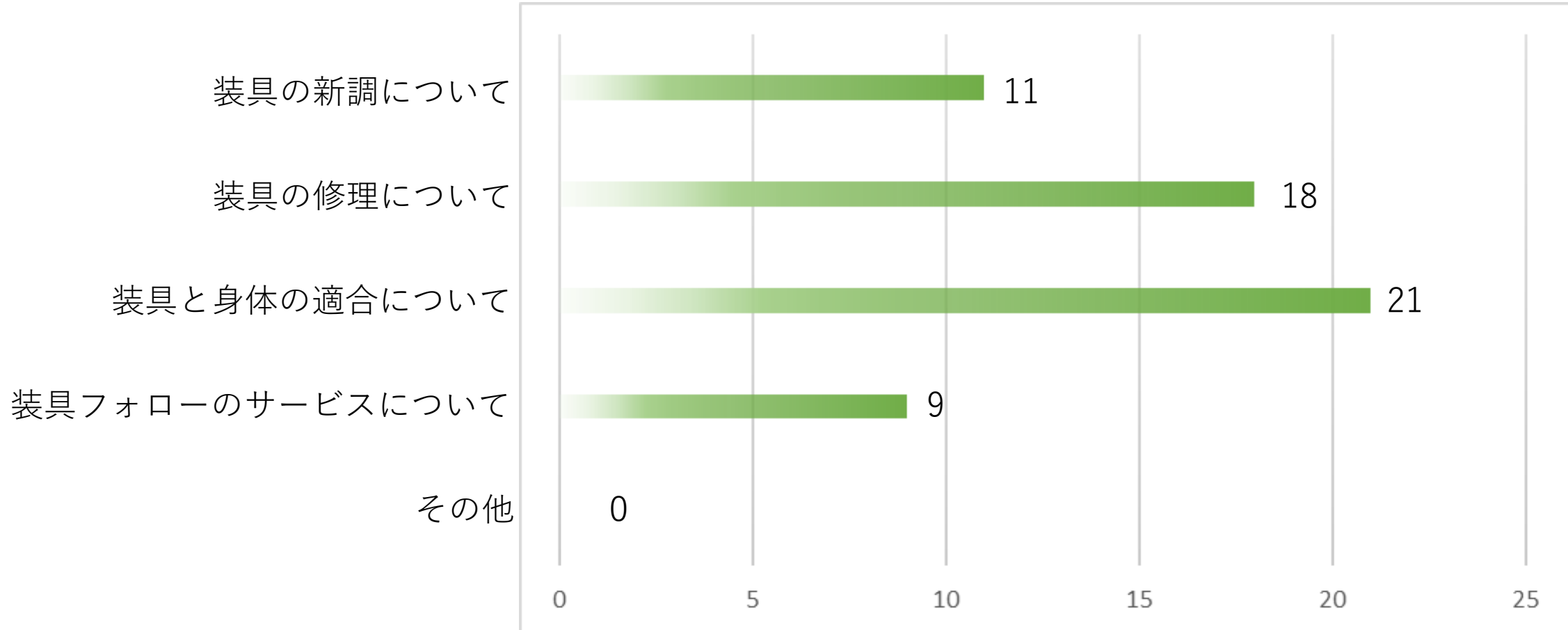
装具の現状確認

43件の回答 [%]



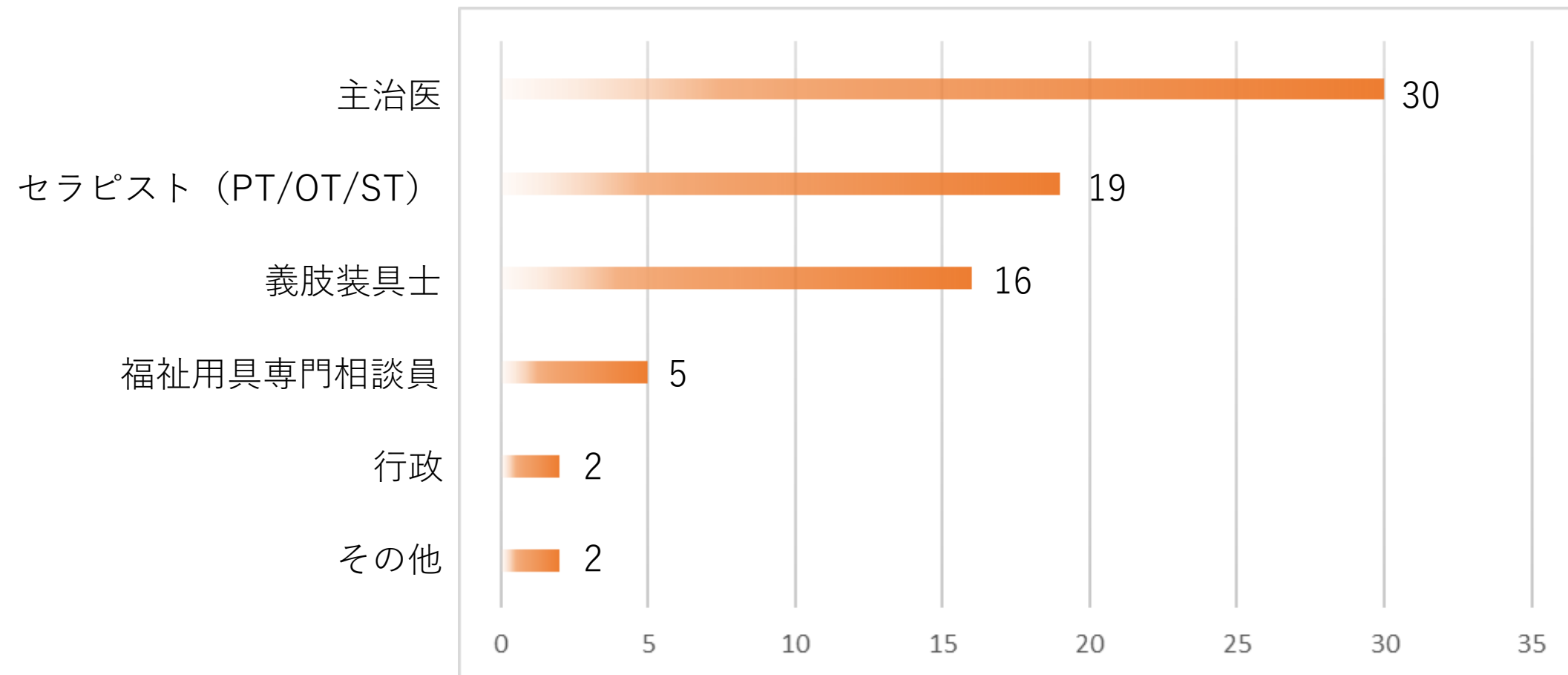
装具についての相談内容

31件の回答 [人] (複数回答)



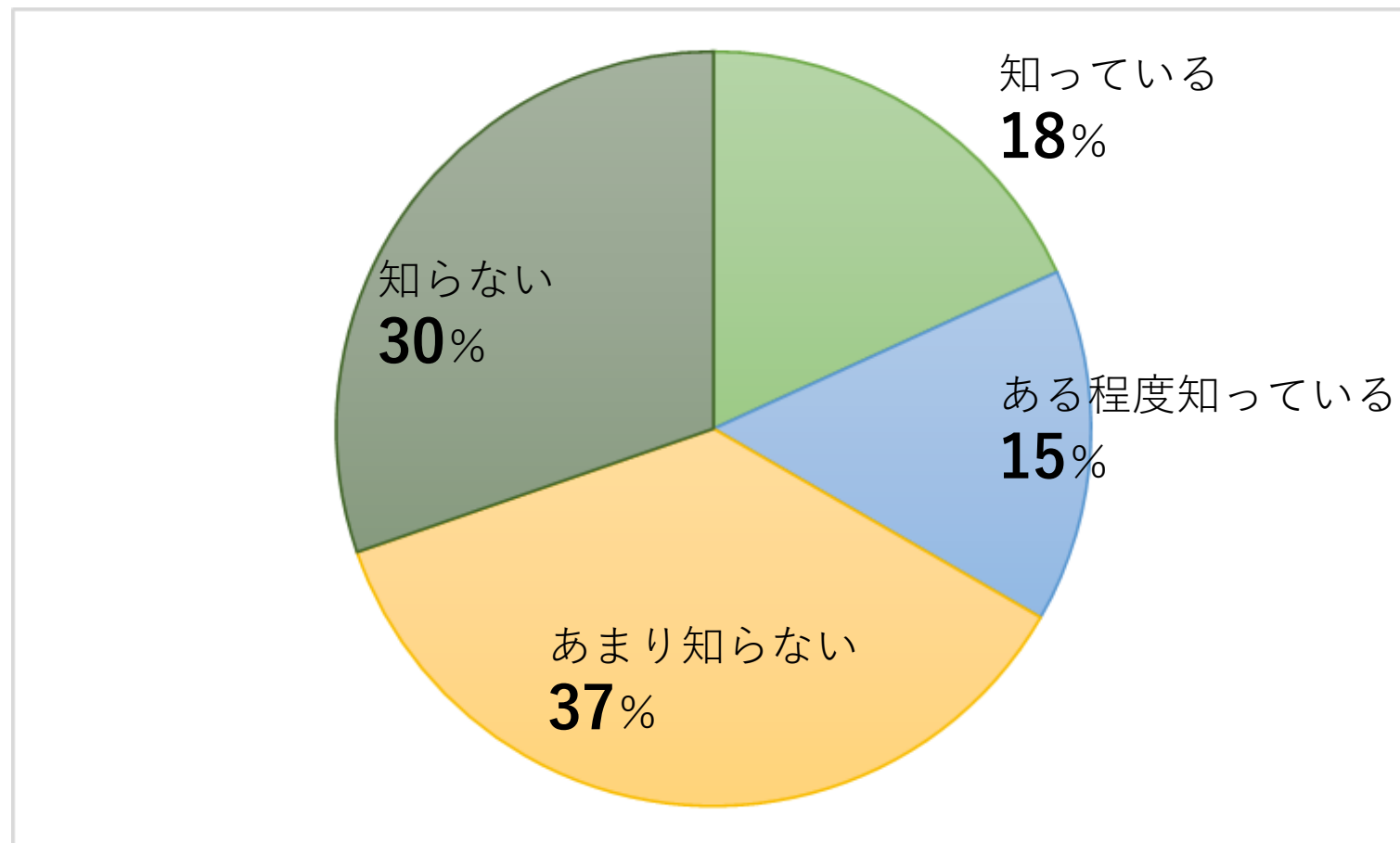
相談後の連携先

31件の回答 [人] (複数回答)



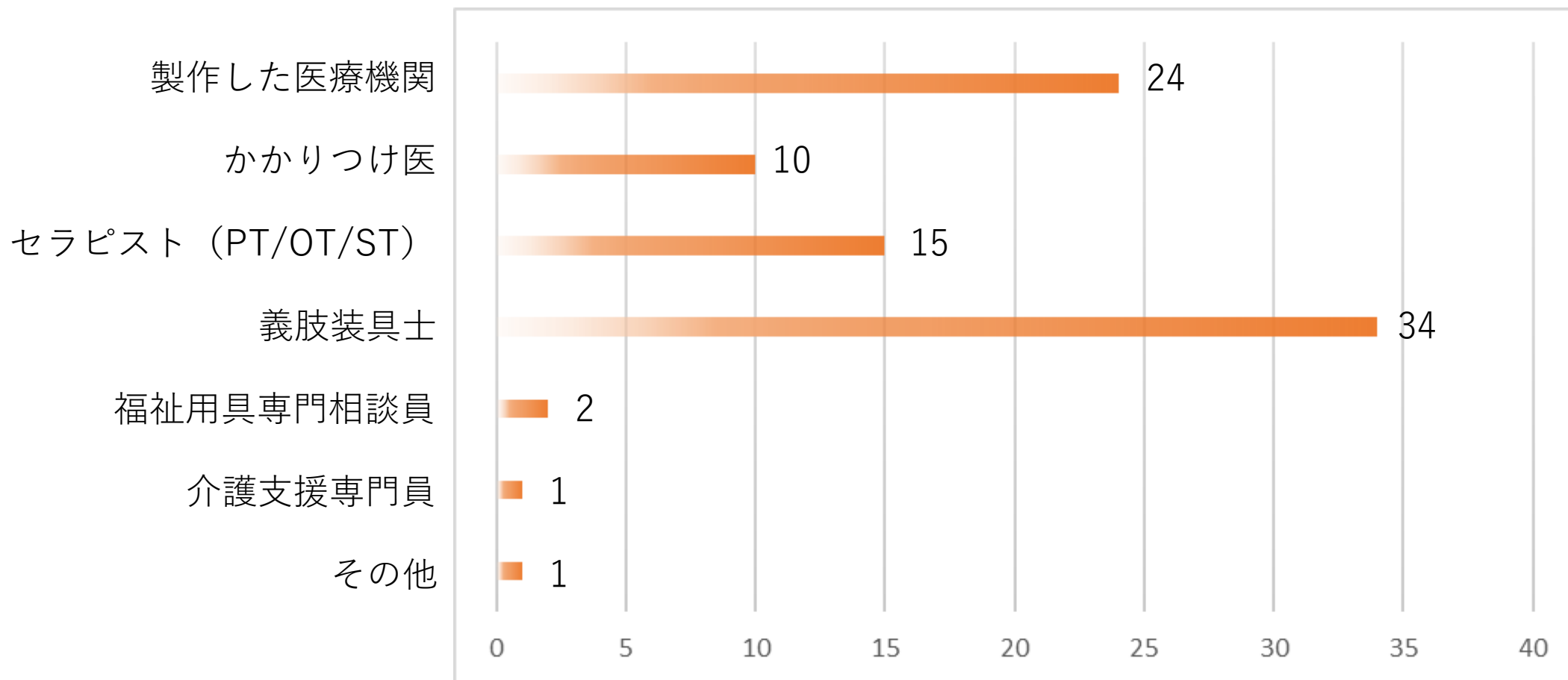
治療用装具と更生用装具

33件の回答 [%]



補装具、誰がフォローすべきか

46件の回答 [人] (複数回答)



義肢装具士との連携

46件の回答 [人] (複数回答)

直接、連携を図っている

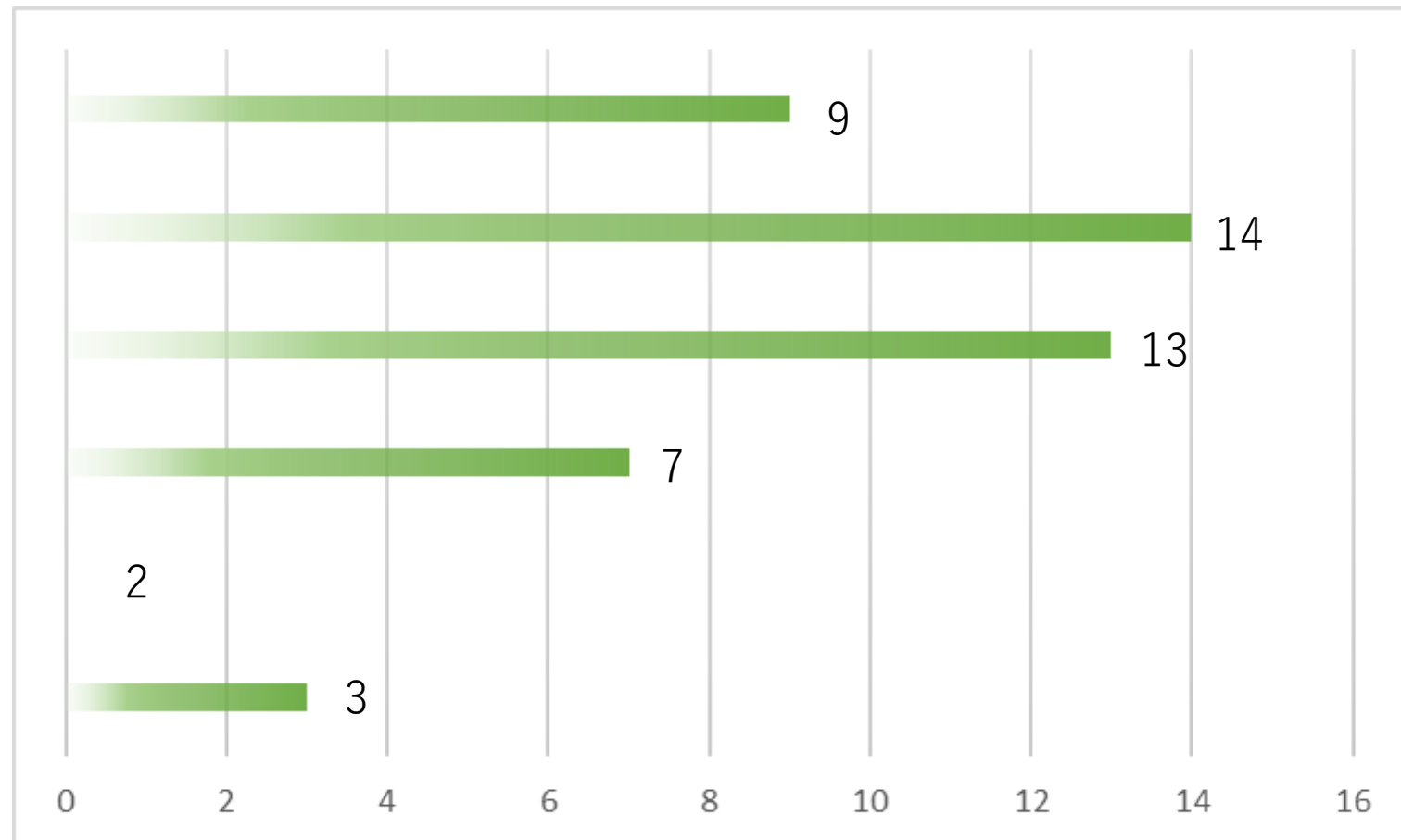
他職種経由で連携を図っている

連携を図っていない

連携を図りたいが、どこに連絡すれば…

連携の必要ない

その他



事由記載(一部抜粋)

- 装具使用者が通所リハや訪問リハ等を利用し、リハスタッフと関わりが有るとは限らない、発症当時医療保険で装具を作製した病院を退院し、近くの開業医が主治医となり、装具に精通されている先生ばかりではない、等ですと、生活期における装具問題点の抽出が、困難な状況になりやすいと思われます。困難とは思いますが、作製後、定期的なモニタリングをおこなって頂けるとありがたいです。
 - 装具作成時のみの関わりのように感じます。使用後の状況、生活の確認も一緒にしていきたいです。
 - 現在ケアマネに役割が集中しすぎる傾向がある為、せめて専門職がいる分野は分担して欲しい。
 - 退院後、通所リハや訪問リハを利用していないご利用者の場合、定期的なフォローをしていただくと助かります。
 - 在宅ケアの中でのPOの存在感が薄すぎます。どこにいるのかもわかりません。頑張って我々のチームで活躍して頂きたいです。
 - 退院後と在宅では生活が違うので、装着するのが面倒になりやめてしまう方もいます。専門職の方からの説明や、装具の調整等をしていただけるとありがたいと思います。
- ・・・他多数